

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介

埼玉りそな銀行 地域とつながり、多様性を力に変える未来戦略

2. 最新情報

《お知らせ》 8件

《地方公共団体等の動き》 11件

※内閣府男女共同参画局 HP「カエル！ジャパン」通信では、本文の内容を画像付きでご紹介しております。ぜひご覧ください。

<https://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/index.html>

■□■ 1. 取組紹介 ■□■

地域とつながり、多様性を力に変える未来戦略
埼玉りそな銀行

会社名 株式会社埼玉りそな銀行

事業内容 銀行業

本社所在地 埼玉県さいたま市

社員数 3,136名（2025年3月末現在）

表彰履歴 2018年女性が輝く先進企業表彰 内閣総理大臣表彰

銀行業界は外部からは安定した業界と見られることが多いですが、実際には、**多様化する顧客ニーズへの対応や柔軟な働き方の実現など、時代の変化に合わせた継続的な挑戦**が求められる環境です。こうした中、埼玉りそな銀行は内閣府が実施した2018年度「女性が輝く先進企業表彰」で内閣総理大臣表彰を受賞。その後も「働きがい」と「働きやすさ」の両立を目指した取組を続けています。今回は、ダイバーシティ推進グループの友松氏に具体的な施策についてお話を伺いました。

◆社内外を超え地域に密着した施策を推進

当社では、埼玉県が女性活躍の促進により地域経済の活性化につなげることを狙いに立ち上げた『埼玉版ウーマノミクスプロジェクト』に呼応し、2015年度に『さくらそうプロ

ジェクト』を始動。女性社員がチームを組み、約1年をかけて**女性の視点を活かした施策を発案し、経営陣へ提言するこの取組は、8年間継続して実施されてきました。**

そして2023年度からは、さらにダイバーシティ推進を加速させるため、**女性限定という枠を外し、社内外のメンバーが共創する「未来プラスプロジェクト」へと進化。**当初は当社含め2団体でスタートし、昨年度より当社を含む6団体に拡大し、埼玉県の5カ年計画なども参考にしながら、**地域社会に貢献できる施策の立案に取り組んでいます。**

◆実践的な学びを深める独自の「女性支店長トレーニー制度」

りそなグループ全体で、女性の活躍の幅を広げ、さらに大きな規模の支店長への登用を目指すことを目的に展開している「女性支店長トレーニー制度」ですが、当社では独自のプログラムを実施しています。1年間のカリキュラムは2つのステップで構成されています。

前期（6カ月）：法人融資を中心とした審査業務を担当。本部の審査セクションで実際の案件を扱いながら、知識とスキルを体系的に習得します。必要に応じて現場にも足を運び、実務を通じた学びを重視しています。

後期（6カ月）：埼玉県内を5つに分けた地域本部のいずれかに配属され、1～2週間単位で各支店を訪問。支店長と行動を共にすることで、支店運営のポイントや現場での判断力を直接学ぶ機会が得られます。

この制度により、**融資審査の専門知識と現場でのマネジメント視点をバランスよく身につけられるのが特徴です。**

◆学びと成長の実感

制度を利用した社員からは、融資審査といった未経験の分野に挑戦する中で、「半年という期間で習得していく大変さ」や「学んだことを現場で本当に活かせるのか」という不安もある一方で、これまで経験したことのない業務に取り組むことで、自分の可能性を広げ、新たなスキルを身につける充実感を得られるという前向きな意見も聞かれました。

続く地域本部での6カ月間では、複数の支店長と共に行動しながら、**現場での実践的な判断力を磨く機会**が得られます。1人の支店長だけでなく、複数の支店長と関わることで、それぞれ異なる価値観や判断基準を学べることが大きな強みになっているそうです。十人十色の視点に触れることで、より柔軟で広い視野を持てるようになったという意見も聞かれました。

さらに、支店長として営業店に配属された後も、こうした学びを実務に活かすため、一定期間は**本部のスペシャリストが伴走支援する体制を整え、現場でのスキル定着をサポート**しています。

◆「共育て」で実現するジェンダー平等な職場へ

当社では、さらなる課題として「男性の意識改革」を挙げています。産後パパ育休などの制度は整備されているものの、実際には育児や家事の負担はまだまだ女性に偏っている現状があると認識しています。今後は「共育て」という考え方を浸透させ、男女の線引きをなくすことで、ジェンダー平等を実現し、誰もが活躍できる環境をつくることを目指しています。現在は更なる制度の拡充や意識醸成のための研修・セミナーの拡充を検討しており、今年11月には当社の関連会社である地域デザインラボさいたまと「共育てセミナー」の共催を計画する等、より多様性を尊重した職場づくりを進めていく方針です。

【データでみる埼玉りそな銀行（2025年3月末時点）】

- ・平均年齢 40.3歳 ・男女比率 男性 42.2%、女性 57.8%
- ・年次有給休暇取得率 90.3%
- ・女性経営職比率 19.8%
- ・女性ライン管理職比率 43.2%
- ・配偶者出産休暇取得率 100%
- ・男性育児休業取得率 102%

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

【経済産業省】

■大阪・関西万博「ウーマンズ パビリオン『WA』スペース」にて、【自分らしく輝くために。女性のウェルビーイングと働き方 ～フェムテックが叶える女性が輝く職場づくり～】を10月3日（金）に開催します！

フェムテックは、妊娠・出産などのライフイベントと仕事の両立を支え、女性の健康課題の解決に貢献します。本イベントでは、働く女性がいきいきと活躍できる職場づくりについて、アカデミアや企業の視点からパネルディスカッションを行います。

参加には申込が必要です（オンライン締切：10月2日（木）12:00）。詳細はウェブサイトをご覧ください。

https://www.asakonet.co.jp/topics/20251003_femtech/

【経済産業省】

■「北陸地域から考える女性活躍推進とフェムテックの活用」を10月15日（水）に開催します！

フェムテックは、妊娠・出産などのライフイベントと仕事の両立を支え、女性の健康課題の解決に貢献します。北陸地域の企業・自治体の取組や課題を共有し、実践的なセミナーやパネルディスカッションを通じて、現場で役立つヒントを探ります。フェムテック製品の体験会も実施予定です。

参加には申込が必要です（オンライン締切：10月9日（木）17:00）。詳細はウェブサイトをご覧ください。

https://www.asakonet.co.jp/topics/20251015_femtech/

【厚生労働省】

■労働契約等解説セミナー 開催中

事業主・人事労務担当者・労働者の皆さまに向けて労働関係法令の基礎、無期転換ルール、副業・兼業のガイドラインをわかりやすく解説。オンライン・講師派遣・個別相談など多様な形式で実施しています。

<https://roukeiseminar.mhlw.go.jp>

【厚生労働省】

■「働く女性の健康課題等に関する研修会」（オンデマンド・無料）

厚生労働省では、事業主や人事労務担当者、産業医や産業保健スタッフ、産婦人科医など働く女性の健康問題に携わる方々、女性労働者を部下に持つ管理職の方々を対象に「働く女性の健康課題等に関する研修会」を実施します。

【配信期間】令和7年10月22日～令和8年3月15日

※お申込いただいた方は期間中いつでも受講できます。

【詳細・受講申込はこちら】 <https://www.bosei-navi.mhlw.go.jp/kenshu2025/>

<お問い合わせ>

働く女性の健康課題等に関する研修会事務局（委託先：一般財団法人女性労働協会）

E-mail：bosei-navi@jaaww.or.jp

【厚生労働省】

■10月から改正育児・介護休業法が全面施行されます

10月1日からは、3歳以上小学校就学前の子を育てる労働者に対し、事業主がテレワークや始業時刻変更など柔軟な働き方の措置を講じることが義務化されます。詳細は厚労省サイトをご覧ください。

・パンフレット「育児・介護休業法」

令和6年（2024年）改正内容の解説

<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/001407488.pdf>

・「育児・介護休業法について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>

・「育児休業特設サイト」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/ikuji/

・「介護休業特設サイト」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/kaigo/index.html

<お問い合わせ>

都道府県労働局雇用環境・均等部（室）では、仕事と育児・介護両立支援制度等相談窓口を設置していますので、ぜひご活用ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000177581.pdf>

【厚生労働省】

■勤務間インターバル制度導入促進シンポジウム（オンライン）

従業員の健康や生産性向上に寄与する勤務間インターバル制度の導入をテーマに、工藤公康氏（元福岡ソフトバンクホークス監督）と小室淑恵氏（株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長）が語ります。制度導入のヒントを得られる機会です。ぜひご参加ください。

日時：10月14日（火） 13:00～15:00

場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー利用／YouTube 同時配信）

参加費：無料

<https://interval-symposium.jp/>

<お問い合わせ>

勤務間インターバル制度導入促進のための広報事業 事務局（委託先：株式会社日本能率協会総合研究所）

Eメール：interval@jmar.co.jp

電話：0120-876-300（平日 10：00～17：00 フリーダイヤル）

【厚生労働省】

■「働き方・休み方改革シンポジウム」（オンライン）

厚労省主催の本シンポジウムでは、働き方改革の現状や課題、テレワークの今後などをテーマに、学識者の講演や企業事例を紹介します。人事労務担当者や関心のある方のご参加をお待ちしています。

日時：10月28日（火）13:30～16:30

開催方式：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

【登壇者や申し込み方法など詳細はこちら】

『働き方・休み方改善ポータルサイト』

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/seminar/>

【内閣府】

■令和7年度「女性に対する暴力をなくす運動」パープル・ライトアップ実施団体を募集！

内閣府では、性暴力やハラスメントの根絶を目指し、毎年「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～25日）を実施しています。今年度のテーマは「DVや性暴力に気づいたら相談されたら。そのとき、私たちにもできることがある」。

運動期間中は、全国のランドマークを紫色にライトアップする「パープル・ライトアップ」を呼びかけており、昨年度は450か所以上で実施されました。

登録締切は10月17日（金）。企業・自治体・学校など幅広い皆様のご参加をお待ちしています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/no_violence_act/index.html

▼パープル・ライトアップ登録フォームはこちら

（<https://forms.office.com/r/GbCmukeW0e>）

《地方公共団体等の動き》

各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体等にお問い合わせください。

なお、以下の内容は、地方公共団体等のHPの内容を引用したものです。

【宮城県】 仙台市

名称：ジェンダー論公開講座「歴史にみる女性のキャリアー大名家奥女中を中心に―」

日時：令和7年10月4日（土） 13:30～15:30

場所：エル・パーク仙台 セミナーホール（仙台市）

URL：<https://www.sendai-l.jp/event/16772.html>

【山形県】

名称：チェリアフェスティバル山形 2025「偏見って意外と身近？ ～気づいて変わる第一歩～」

日時：令和7年10月11日（土）、12日（日） 9:00～17:00

場所：遊学館（山形市）

URL：<https://yamagata-cheria.org/archives/10467>

【埼玉県】

名称：地域の女性応援講座 -あなたの行動が地域を変える！-

日時：令和7年10月26日（日） 13:30～16:30

場所：坂戸市文化施設オルモ2階情報研修室（坂戸市）

URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/event/list/1026tiikijoseiouen.html>

【東京都】千代田区

名称：講演会「広告観察を通して考えるジェンダー表現とメディア～「男らしさ」はどこからきたの？」

日時：令和7年10月17日（金） 19:00～20:30

場所：日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス（小ホール）（千代田区）

URL：<https://miw.city.chiyoda.lg.jp/6520/>

【山梨県】

名称：男女共同参画実践講座「女人禁制と現代-相撲を中心に-」

日時：令和7年10月26日（日） 13:30～15:30

場所：ぴゅあ総合 大研修室（甲府市）／オンライン（Zoom）

URL：https://www.pref.yamanashi.jp/challenge/calender_detail.php?id=3718

【岐阜県】岐阜市

名称：男女共同参画つながり創出サロン（共催）「高齢化社会のなかで老いと防災に向き合う」

日時：令和7年10月12日（日） 14:00～15:30

場所：ハートフルスクエアG2階 大研修室（岐阜市）

URL：<https://gikyobun.or.jp/heartful/josei-c/event/2025/08/content-1.html>

【愛知県】名古屋市

名称：ジャンヌ・ダルクは何者か ～社会の向き合い方から、新たな発想を生む～

日時：令和7年10月21日（火） 10:30～12:00

場所：イーブルなごや ホール（名古屋市）

URL：<https://e-able-nagoya.jp/lec/24255/>

【滋賀県】

名称：女性の起業家交流会 つながる・つなぐ・つなげる◆持続可能な社会を目指して！

日時：令和7年10月8日（水） 10:00～12:30

場所：滋賀県庁 東館7階大会議室（大津市）

URL：<https://www.pref.shiga.lg.jp/g-net/seminar/challenge/307119.html>

【兵庫県】

名称：私らしく働くための“安心チェック”－働く前に知っておきたい労働条件の基礎知識－

日時：令和7年10月27日（月） 13:30～15:30

場所：兵庫県立男女共同参画センター・イーブン セミナー室（神戸市）

URL：<https://hyogo-even.jp/seminar/1027anshincheck.html>

【奈良県】

名称：変わりゆく結婚観と家族のカタチ

日時：令和7年10月18日（土） 10:00～12:00

場所：奈良県女性センター 3階 講座室（奈良市）

URL：<https://www.pref.nara.jp/69718.htm>

【徳島県】

名称：モラハラ夫と食洗機

日時：令和7年10月18日（土） 13:30～15:00

場所：アスティとくしま2階 パーク テレコメディア学習室(徳島市)／オンライン(Zoom)

URL：<https://www.pref.tokushima.lg.jp/flair/event/campus/7305134/>

【編集後記】

厚生労働省「令和6年度 雇用均等基本調査結果」によると、日本における「課長相当職以上(役員含む。)に占める女性の割合」は13.1%にとどまっています。背景にはさまざまな要因がありますが、その一つが、育児や家庭との両立に難しさを感じる方がいることも挙げられます。家庭を持った従業員が仕事を続けられるように制度や環境を整えることは、企業にとって必須の取組といえます。

そのほかに、「管理職は男性から登用するもの」「女性にはサポート役が向いている」といった固定観念がスキルアップの機会や業務内容の男女間格差を生み、女性管理職に適した人材の不足を招いているという要因も考えられます。男女間格差を解消するためには、経営層をはじめ組織全体で固定観念の払拭に努め、性別に関係なく幅広い従業員にスキルアップや活躍の機会を提供していく必要があります。

今号のコラムにも登場した埼玉りそな銀行の「女性支店長トレーニー制度」は、女性社員がスキルを磨き、キャリアへの意欲を高める機会として、業界内外から関心を集めています。こうした取り組みを通じて女性の活躍が進むことで、組織の活性化につながり、企業イメージの向上や人材の確保につながることが期待されています。

自社の状況把握や取組の参考になる情報源として、今回は、厚生労働省の「女性の活躍推

進企業データベース」をご紹介します。このサイトでは、全国の企業の女性活躍に関する情報・行動計画が公表されており、業種や地域別に検索して、他社の取組内容を詳細に知ることができるのが特徴です。

■女性の活躍推進企業データベース

<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/>

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。
御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<https://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<https://www.cao.go.jp/wlb/index.html>